

## 「研究成果の地域への普及」

学校法人ノートルダム清心学園清心女子高等学校のスーパーサイエンス研究開発事業は、指定を受けて4年を終えようとしています。

今年度は、次の6項目を研究開発テーマとし、過年度の研究の継続とそこから得られる成果を基にしてさらに研究を深化することができるよう、下の実施計画を立てました。

1. 女性の科学技術分野での活躍を支援できる教育課程、教育内容の開発
2. 「生命」を科学的に捉える視点の育成
3. 女性の積極的に学ぶ姿勢とリーダーシップを育てる教材と指導法の開発
4. 国際的な科学技術系人材の育成を目指した教育内容の開発
5. 大学や研究機関と連携した教育体制の構築
6. 研究成果の地域への普及による科学技術分野での女子生徒のキャリア形成支援

「研究成果の地域への普及」については、多方面からの協力を得て、10月31日に交流会を実施することが出来ました。特に独立行政法人科学技術振興機構（JST）をはじめ、岡山県、岡山県教育委員会、倉敷市教育委員会、福山市教育委員会の支援を得て、宮地茂記念館（福山市 福山大学社会連携研究推進センター）において「集まれ！理系女子 第1回女子生徒による科学研究発表交流会」を開催し、北は千葉県、南は宮崎県から参加者を得て、8件の口頭発表と57件のポスター発表をおこなうことが出来ました。前例のない企画であったため、開催まで不安もありましたが、無事に第1回を終えることが出来たことを一同大変喜び、将来への確かな手がかりを得たと思っています。

この交流会は、同年代の志を同じくする女生徒が一堂に会し、日ごろの研究を直接分かち合える得がたい機会になりました。女子がリーダーシップを取って研究、発表し、意見交換を行う機会が、今後、ますます増えることを期待し、第1回の交流会に参加して下さった皆様に心から感謝申し上げます。

終わりにりましたが、ご指導いただきました諸大学の先生方、文部科学省、科学技術振興機構（JST）の皆様に厚くお礼を申し上げます。

2010年3月31日

学校法人ノートルダム清心学園  
清心女子高等学校  
校長 小谷 恭子